

領土ナショナリズムを煽る「竹島の日」の誤りを糾す !!

2/18(土) 第13回「竹島の日」を考え直す集いに御参加を!!

■日時 2017年2月18日(土)午後2時~5時 参加費カンパ500円(会員無料)

■主催 「竹島の日」を考え直す会 ■共催 韓国慶尚北道独島財団

■会場 大阪市PLP会館 四階中会議室 (大阪市 JR 天満駅・地下鉄扇町駅徒歩五分)

■テーマ 領土ナショナリズムを煽る「竹島の日」の誤りを糾す 2/22「竹島の日」を前に

講演1 「島根県の『竹島の日』制定の理由と主張を糾す」

黒田 伊彦 (副代表、元大阪樟蔭女子大学教員)

島根県は、竹島周辺での漁場確保のため、2005年3月、「竹島は日本領土」との宣言を基に「2/22 竹島の日」条例を定めた。2/22は、1905年、日露戦争中に日本海海戦の軍事拠点として朝鮮より強奪して島根県に編入した日である。この事実に触れない、島根県の啓発DVDやポスターを批判し、あるべき歴史認識を提起する。

講演2 「続 外務省見解に基づく領土教育批判と尖閣=釣魚諸島問題」

久保井規夫 (理事長、歴史学名誉博士、元桃山学院大学教員)

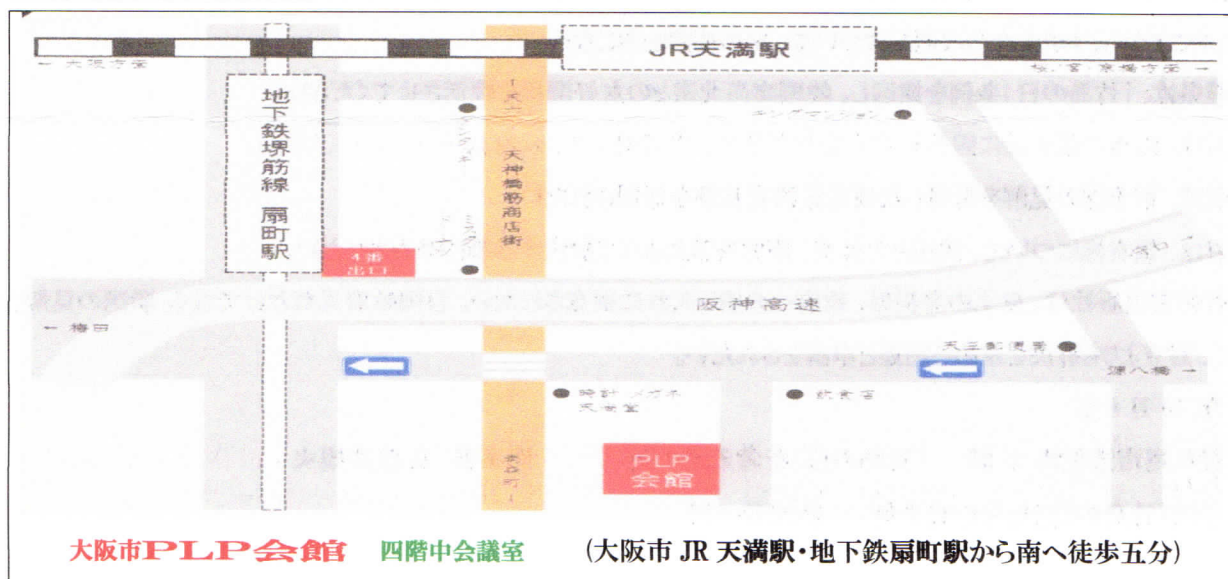
日本の領土問題である北方領土、竹島=独島、尖閣=釣魚諸島は、外務省見解に基づき、教科書にも隣国と対立する記述で記載されている。これらに共通している、破綻した「固有の領土」論を糾し、歴史的事実に基づく正論を追求したい。今回は、戦後、日本と中国・台湾との狭間での尖閣=釣魚諸島の状況を、隠蔽されている米国の介入も見据えて、日本が自立して解決すべき道を示す。

■質疑・討論

■集会決議:要請「竹島の日」撤廃と領土教育是正の要請

(島根県知事、内閣・外務省・文部科学省、各教科書会社へ)

■連絡・当面の活動



大阪市PLP会館 四階中会議室 (大阪市 JR 天満駅・地下鉄扇町駅から南へ徒歩五分)